

行政評価第三者評価委員会対象施策 結果比較

施策名：広報・広聴活動の充実

担当部課：企画管理部企画広報課

評価項目	担当部	行革推進委員会	第三者評価委員会	行革本部会	第三者評価委員会意見
施策の達成状況					市民満足度の把握が必要。
有効性					身近なインターネットを活用した広報の工夫により、市民ニーズにあったものになると思われる。
妥当性					市民ニーズを把握するため、アンケートを実施すれば、よりよい施策となる。
効率性					効果、便益の大きさをより明確に把握することが必要。
総合	A	B	B	B	予算内で優先順位をつけ、より成果があがるように効果的な配分が必要。

施策名：生きがいづくりの推進

担当部課：市民福祉部健康福祉課

評価項目	担当部	行革推進委員会	第三者評価委員会	行革本部会	第三者評価委員会意見
施策の達成状況					各セミナー等の参加者の増は、生き生きと過ごす元気な高齢者が多いと判断できる。
有効性					閉じこもりがちな高齢者に対する事業検討が必要。
妥当性					セミナー等の実施内容について、今一度精査し、公共・民間の別を検討する余地があると思われる。
効率性					セミナー等で、他事業との統合も視野に入れた検討が必要。
総合	B	B	B	B	閉じこもりがちな高齢者への事業の優先度をあげることが必要。

施策名：育成環境の充実

担当部課：市民福祉部子育て支援室

評価項目	担当部	行革推進委員会	第三者評価委員会	行革本部会	第三者評価委員会意見
施策の達成状況					待機児童がないことから、安心して子供を育てる環境があると判断できる。
有効性					次世代育成支援行動計画の見直しに対して、市民ニーズの反映を期待する。
妥当性					子育て世代全体が対象となる特徴のある事業の検討が必要。
効率性					測定方法に十分に注意しながら、費用対効果をより明確にし、最適化の検討が必要。
総合	B	B	B	B	子育て施策が重要ななかで、今後の市の方向性を明確にし、取り組むことが必要。

施策名：ごみの適正処理

担当部課：建設経済環境部環境課

評価項目	担当部	行革推進委員会	第三者評価委員会	行革本部会	第三者評価委員会意見
施策の達成状況					各料金体系など、他自治体との比較検討を行い、効率的な運営ができるような調査が必要。
有効性					市民の資源ごみの民間施設利用状況から、市も市民ニーズにあった収集方法の検討が必要。
妥当性					市民との協働により、きれいなまちづくりが進んでいる。更に協働が進むことを期待する。
効率性					ごみ収集場所等で非効率になっている部分を精査し、民間委託についても検討が必要。
総合	B	B	B	B	H21導入した一部民間委託の結果を十分検証し、将来に向け効率的な取り組みを期待する。

施策名：救急救助体制の充実

担当部課：消防本部消防課

評価項目	担当部	行革推進委員会	第三者評価委員会	行革本部会	第三者評価委員会意見
施策の達成状況					救急講習の浸透率をはかるためにも計画をもった目標にすることが必要。
有効性					市民ニーズを把握し、社会情勢に対応するための改善がみられる。
妥当性					現在の事業を確実に実施し、市民へ応急技術が浸透する事業の検討を期待する。
効率性					職員の専任化ができない中で、連携を図り業務の実施を行っている。
総合	B	B	B	B	市民へ講習内容等が浸透する対応及びAED等の積極的なPRを願う。

施策名：青少年活動の活性化

担当部課：教育委員会生涯学習課

評価項目	担当部	行革推進委員会	第三者評価委員会	行革本部会	第三者評価委員会意見
施策の達成状況					施策目的に合致しにくい事業が見られる。社会参加の場と機会の提供については、概ね達成していると判断できる。
有効性					青少年育成事業、青少年育成補助金事業は、更なる改善の余地があると判断する。
妥当性					一部の事業で自治体の関与について検討が必要。子ども会の加入率増についての取組が必要。
効率性					委託料の精査が必要。指導者の養成に力点を置いた事業が必要。
総合	A	B	B	B	高齢者等と一緒に、地域ぐるみでの取組が理想。